

# エンゼルランドふくいは 子どもの健全育成、子育てを応援します！！

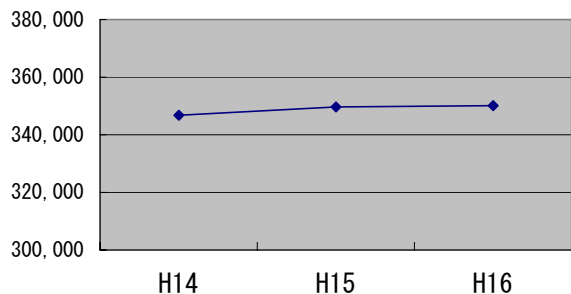
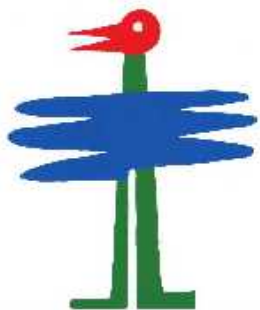
所在地	坂井郡春江町東太郎丸3-1		
設置年月日	平成11年6月1日		
施設の種類	児童厚生施設	施設管理主体	県
設置の目的	遊び体験により児童の健康を増進し、情操をはぐくむとともに、科学に関する知識を提供して科学に対する児童の関心や理解を深め、児童の健全な育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	本館：鉄骨鉄筋コンクリート造り、地上2階（一部3階）、延べ6,849㎡、プレイエリア、展示エリア、センターエリア（スペースシアターなど） 別館（太陽と風の砦）：鉄筋コンクリート造り、地上2階、延べ170㎡ 屋外公園：芝生広場、大型遊具（こどもの村、こどもの雲）、単体遊具		
職員数	職員 8人 派遣5人 嘱託 8人 アルバイト 1人 計22人		

## 利用状況等

	H14	H15	H16
入場者数(人)	346,790	349,710	350,097
企画展入場者数(人)	106,501	62,725	41,860

## 利用者負担(利用料金)等

観覧料 (スペース シアター)	一般	
	小中学生	250円
幼児	100円	
〃 (展示)	一般	100円



## 利用状況の 推移

年3回実施している企画展に加え、催事や各種イベントなどを年間100日実施することにより、年間入場者数は前年並の約35万人と年間を通じて多くの方の利用がありました。また、平成17年3月には開館以後の総入館者200万人を達成しました。

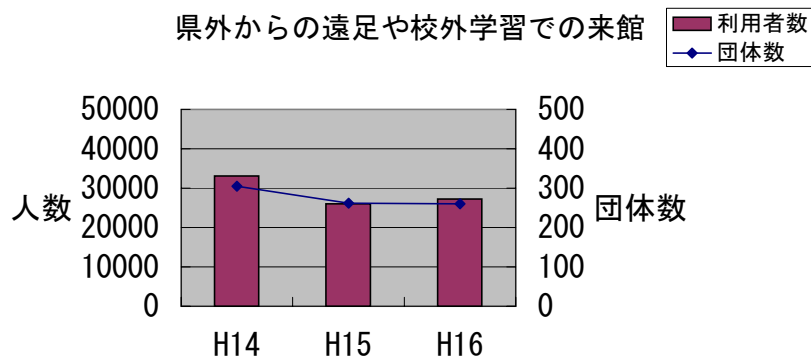
## 16年度の特徴について

事業実績	<p>6月の企画展「手作り科学展」の実施にあわせ、名誉館長の毛利宇宙飛行士を招いて開館5周年記念式典を開催し、毛利氏の宇宙での体験談や宇宙に対する夢などについての講演「宇宙授業」等を実施しました。</p> <p>コンピュータールーム・クラフトルーム・サイエンスラボでは、月ごとに変わるプログラムに加えて、春休み、夏休み期間中には特別教室を実施し、遊びながらの体験・創作、科学に触れ学べる機会を提供しました。</p> <p>平成16年度はコンピュータによる立体写真の創作、廃材等を素材とした創作、エジソンの発明に関する実験ショー等を新たに取り入れ、年間約88,000人が利用しました。</p> <p>ファンタジーエッグでは、乳幼児対象の音楽遊び、季節催事に合わせたイベントの開催や、新たに子どもたちの自己表現能力を高める活動として「表現活動」を実施し、年間約50,000万人の利用がありました。</p> <p>県内の児童館・児童センターの施設職員や放課後児童クラブの指導員に対する研修等を実施し、年間約640名の参加がありました。</p>
------	--

## 観光資源としての役割

遠足などで県外から260団体が来館するなど、本県の観光資源としても重要です。近県への定期的なPRにより、県外からの来館者への情報提供を行いました。

## 県外からの遠足や校外学習での来館



## ボランティアの養成

平成16年度は、100人のボランティアを養成し、クラフトルームやコンピュータールーム、サイエンスラボにおける児童の指導をはじめ、自主企画イベントなどの新たな取組みも積極的に行いました。



# 福井県児童科学館(エンゼルランドふくい) 2/2

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	0.0%
物にかかるコスト	物件費	374,039	41.6%	97.8%
	維持補修費	37,729	4.2%	5374.5%
	減価償却費	353,321	39.3%	100.2%
	計	765,089	85.1%	104.0%
その他	公債費(利子)	133,643	14.9%	88.7%
	その他	0	0.0%	-
	計	133,643	14.9%	88.7%
合計		898,732	100.0%	101.4%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	8,657,405	96%	固定負債	4,687,387	87%
投資等	49,587	85%	流動負債	688,090	100%
流動資産	0	-	正味資産	3,331,515	112%
計	8,706,992	96%	計	8,706,992	96%



**施設の特徴** 開館以来、宇宙飛行士の毛利衛氏を名誉館長とし、宇宙や科学、自然について子どもたちが直接遊び、学ぶことができる体験型の展示装置を数多く設置するなど、さまざまな地域文化や環境を学ぶことで、子どもたちが発見や感動を通じ、地球や宇宙について考える機会を提供しています。

**今後の課題** また、屋外広場には、全国でも数少ない大型遊具が設置されており、その人気も高く、一部を除いて無料ということもあり、県内外の多くの親子が利用しやすい施設となっています。

今後、少子化による影響がある中で、コスト削減を図りながら従来の機能を適切に維持しながら、新たな企画を取り入れていきます。

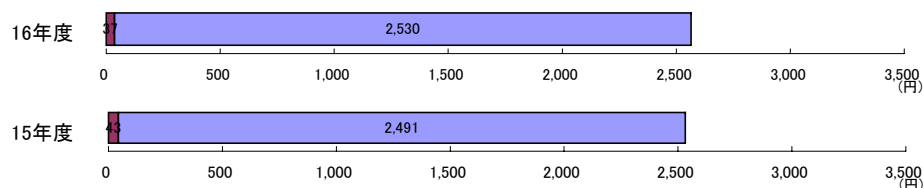
(単位 千円)

収入				
	利用料等収入	12,875	1.4%	86.2%
	その他収入	10,424	1.2%	92.3%
	一般財源	875,433	97.4%	101.8%

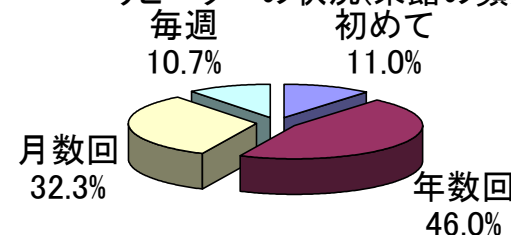
(前年比)

利用料等収入計	12,875,000 円	86%
利用者1人あたり平均利用料	37 円	86%
利用者1人あたりコスト	2,567 円	101%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



リピーターの状況(来館の頻度)



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

- ・施設の設置が平成11年と新しく、減価償却費や公債費の割合が高くなっています。
- ・屋外遊具「こどもの雲」、展示エリア「スペースシップ」の大規模修繕を行ったため、維持補修費が増加しました。
- ・社会福祉法人福井県福祉事業団への管理委託を行っているため、県の委託料として全て物件費に計上しています。
- ・有形固定資産のうち、建物が6,595,692千円と76%を占めています。
- ・展示エリアとスペースシアター以外は、無料で利用できるため、利用者負担割合は低くなっています。
- ・物件費の縮減に努めましたが、維持補修費の増加により利用者1人あたりコストは15年度の2,534円に対し、2,567円となりました。

今後の事業方針

平成18年4月から、指定管理者による管理が行われる予定です。

取組み内容

常に新たな企画内容を取り入れ、県内の親子に何度でも来館してもらえるよう、ソフト面を充実していきます。

特に、17年度からは、子育てに関わりのある有資格者の協力を得て、子育て中の保護者の相談に応じる事業を実施しており、県内の子育て家庭に対する支援も充実していきます。

開館から6年を経過していることから、これまでに蓄積された県民ニーズを踏まえ、子どもが利用する施設として安全で楽しめる施設運営を行っていきます。

県内の児童館・児童センターの中核施設として、これらの施設の連携や職員の資質向上を図っていきます。